

愛知のぶどう

1 愛知のぶどうは全国7位

平成28年産の本県産ぶどうの結果樹面積※は466ヘクタール、収穫量は4,360トンで、結果樹面積は全国7位、収穫量は全国8位です。県内では、大府市を始め各地域で栽培されています。

県内で栽培されている品種は、「巨峰」が約7割を占め、なかでも、植物成長調整剤ジベレリンを用いた「種なし巨峰」の栽培は本県が発祥です。

また、近年では、皮ごと食べられる「シャインマスカット」など様々な品種が導入されています。

※ 結果樹面積

果実が収穫できる面積で、育成中の幼木園や耕作放棄園などの面積は含まれない。

表1 全国主産県と愛知県**のぶどう結果樹面積**（平成28年産）

順位	県名	結果樹面積 ha	結果樹面積 シェア %
1	山梨県	3,860	22.7
2	長野県	2,300	13.5
3	山形県	1,520	8.9
7	愛知県	466	2.7
全国計		17,000	100.0

（果樹生産出荷統計）

表2 全国主産県と愛知県**のぶどう収穫量**（平成28年産）

順位	県名	収穫量 t	収穫量 シェア %
1	山梨県	42,500	23.7
2	長野県	28,800	16.1
3	山形県	18,700	10.4
8	愛知県	4,360	2.4
全国計		179,200	100.0

（果樹生産出荷統計）

2 愛知県果樹振興会について

（1）組織の概要

○設立 昭和22年

○会長 前田 隆（あいち知多農業協同組合代表理事組合長（常滑市））

○会員 11会員、傘下果樹生産者 約4000人

○部会 6部会（かんきつ、かき、なし、ぶどう、もも、いちじく）

（2）主な活動内容

○生産者の栽培技術の向上及び販売対策の充実を図るため、各部会ごとに園地視察と講演会等を内容とする現地研究会を開催。

○生産者の栽培管理技術の向上並びに本県産果実の優秀性のPRのため、県及び経済連との三者共催による果実品評会「ぶどうフルーツコンテスト」、「いちじくフルーツコンテスト」を開催。